

寄宿舎便り



令和8年1月30日発行

第7号

文責 上村

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。年末年始はどのように過ごされたでしょうか。年が明けて新たな1年がスタートする1月。日に日に寒さが増し、体調を崩しやすい時期でもあります。冬の季節や行事を楽しみながら体調に気を付けて過ごしていきたいと思います。

ゆず風呂

12月22日は冬至でした。寄宿舎では、今年もゆず風呂を実施しました。湯船に浮かべたゆずの香りを楽しみながら、入浴をしました。ゆず風呂には、香りで邪気を払い身を清める「みそぎ」の意味と、「冬至=湯治」、「柚子=融通が利く」の語呂合わせで運気を呼び込むという願い、そして血行促進や、保湿効果で寒い冬を健康に乗り切るための知恵が合わさった風習があります。舎生、職員ともに健康な体で寒い冬を乗り切りたいと思います。(西)



凧あげ

昔から、お正月の風物詩と言えば「凧あげ」と「コマ回し」でした。最近は、お正月に凧あげをしている人を見かけなくなりましたが、寄宿舎では時折吹く風を感じながら伝統的な遊びを楽しみました。「凧あげ」には、新年の健康祈願の意味合いもあるそうです。今年もみなさんが健康でありますよう願っています。(坂田)



- 2日（月）誕生者紹介
- 12日（木）役員会
- 26日（木）卒業生を囲む会